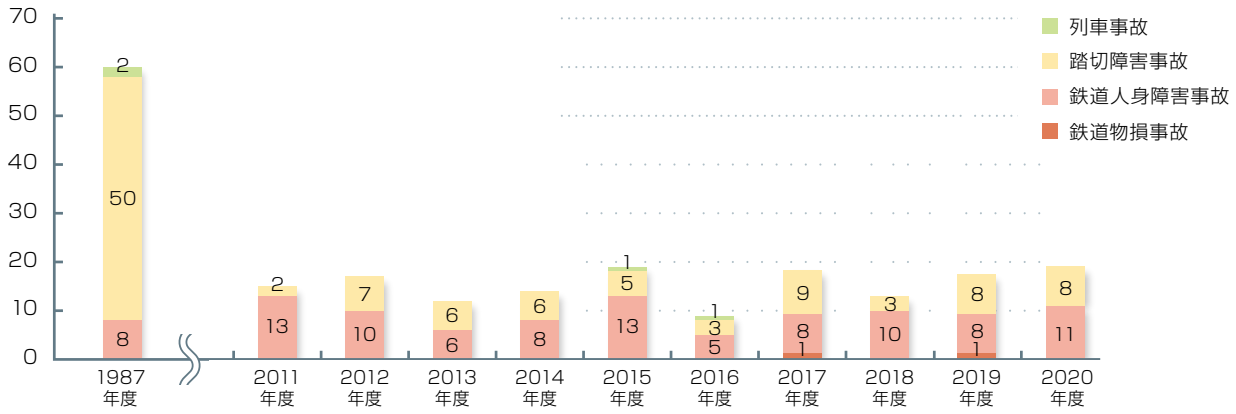
7 鉄道運転事故等の発生状況

7-1 鉄道運転事故・輸送障害の発生件数

これまでの様々な取り組みにより、2020年度の鉄道運転事故発生件数は19件と会社発足当初と比べ、大きく減少しました。

【鉄道運転事故の発生状況】



※列車事故の概況

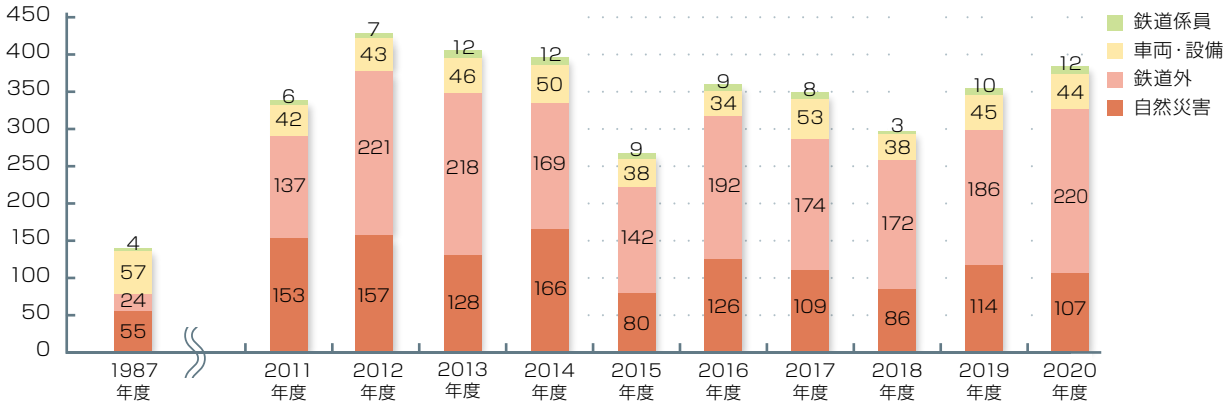
2015年度：東海道新幹線にて乗客1名が車内でガソリンをまき、自ら火をつけたことにより発生したと推定される列車火災事故

2016年度：東海道線において、列車と警報中の踏切内に進入してきた自動車が衝撃したことにより発生した列車脱線事故

注）鉄道運転事故　列車事故　：列車の衝突、脱線、火災事故
踏切障害事故　：踏切において列車又は車両と歩行者又は自動車等とが衝撃したもの
鉄道人身障害事故：列車又は車両の運転により人の死傷を生じたもの
鉄道物損事故　：列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じたもの

また輸送障害の発生件数は昨年よりも増加していますが、近年の異常気象による大雨などの自然災害や、動物との衝撃や踏切内で自動車を検知したために列車を踏切手前に停車させたものなどの鉄道外の原因によるものが多数を占めています。

【輸送障害の発生状況】



注）輸送障害　鉄道運転事故に該当しないもので、列車の運転を休止したもの
または、旅客列車が30分以上（旅客列車以外の列車は1時間以上）遅延したもの

7-2 主な鉄道運転事故等

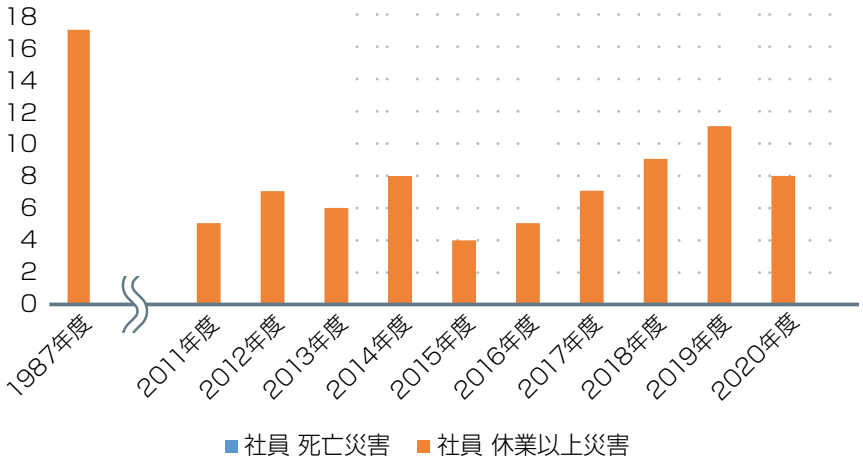
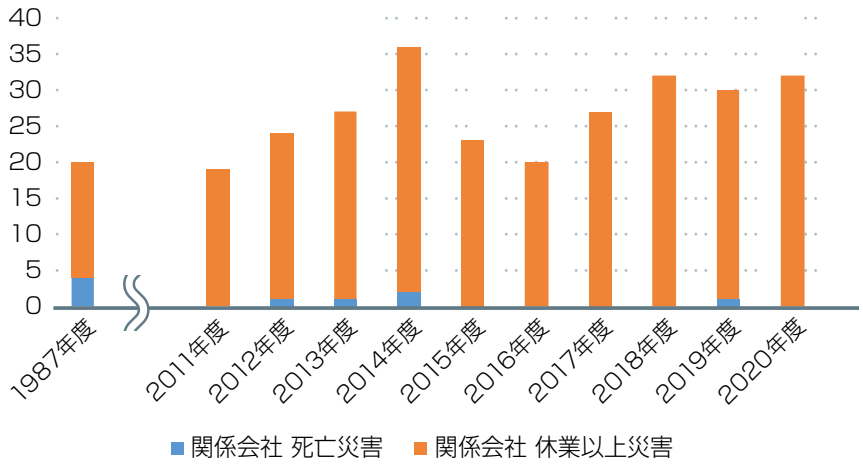
2020年度においては、当社に起因する鉄道運転事故は発生しませんでした。またインシデントも発生しませんでした。

注）インシデント　：鉄道運転事故等が発生するおそれのある事態

7-3 労働災害の発生状況

2020年度においては、休業災害は社員8件、関係会社32件発生しました。近年、夏季における熱中症が多く発生しており、作業環境改善などの対策に取り組んでいます。

休業以上災害（当社社員）



休業以上災害（関係会社）